

あなたは健診の結果、 腎臓が **要再検査** でした

放っておかずに
医療機関を
受診しましょう

監修

久留米大学医学部内科学講座
腎臓内科部門 主任教授

深水 圭 先生

慢性腎臓病（CKD）は、
放っておくと気づかないうちに
進行し、深刻な状態になる
リスクがあります。

※CKDとは、腎臓の障害や腎機能の低下が3ヵ月以上
持続している状態を言います。

症状が出ていないから大丈夫？

早期のCKDは、自覚症状がほとんどありません。症状を自覚する
ときには、CKDは進行していると言われています。

忙しいからいまは病院へ行けない？

CKDが進行すると、貧血やむくみなどの症状が進み、さらに進行すると末期腎
不全となる可能性があり透析療法や腎臓移植などが必要になるケースもある
ことから、生活に大きな影響が生じる可能性があります。
また、CKDがあると、脳卒中や心不全などの心血管疾患の発症や、死亡の
リスクが高くなることが明らかになっています¹⁾。

1) Jankowski J, et al.: Circulation. 2021; 143(11): 1157-72.

CKDになる人はそんなにいない？

日本の20歳以上の方でCKD患者は2,000万人いると推計されており、
約5人に1人がCKDであると言われています²⁾。

2) 日本腎臓学会 CKD診療ガイド2024

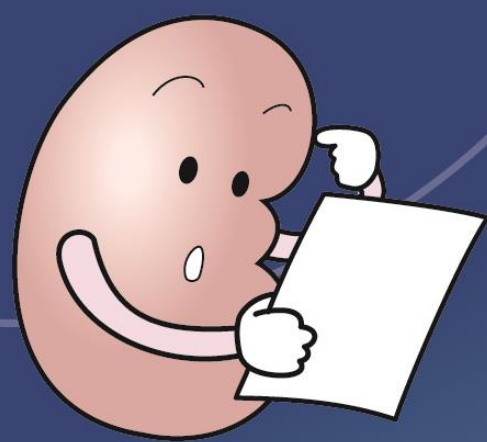
CKDは早期に発見し、進行を防ぐことが大切です

慢性腎臓病の予防に役立つ情報を、
群馬県公式YouTubeチャンネル”*tsulunos*”で公開中



制作・協力：群馬県慢性腎臓病対策推進協議会





健診は 受けた後の行動が 大切です

まず、健診結果を持参して医療機関を受診しましょう。
かかりつけの医療機関がある場合は、
受診した際に医師へご相談ください。

「症状がないから」「基準値より少し高い/低い
だけ」などの自己判断は、CKDの早期発見を
遅らせてしまう可能性があります。
必ず再検査を受けましょう。

健康診断の結果、
腎臓の検査項目で
要再検査と指摘を
受けたのですが…。

